

# この子らと

令和4年1月

## まことの保育



鹿児島竜谷学園和光幼稚園



園長 川口公男



今年もよろしくお願ひ申し上げます

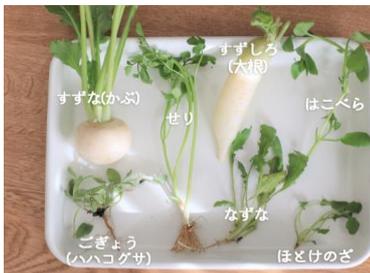
和光幼稚園職員一同

みなさまにおかれましては、輝かしい希望に満ちた新年を迎えられたことと思います。一方、オミクロン株という新たな変異株へのまん延防止策を駆使しながらの一年となるのではと懸念しているところでございます。

めでたさも 中くらいなり おらが春(小林一茶)

昨年は、別添の保護者による園評価にご協力くださりありがとうございました。お褒めのことばをたくさんいただくとともに課題もいただきましたので、職員一丸となつてさらに信頼される園づくりに取り組んでまいります。

### 七草祝(鹿児島別院本堂)



1月7日七草の日  
年末・年始を終えて弱った胃や身体をいたわるために「七草かゆ」を食べて今年一年健康

で過ごせることを念じる行事です。

七草とは、「すずな、せり、すずしろ、はこべら、ごぎょう、なすな、ほとけのざ」です。



鹿児島別院で七草祝の式で行われ、年中組を中心に50人の子どもたちが参加しました。家族でご焼香・合掌・礼拝をした後、森田ご輪番先生のお話を拝聴しました。七草の由来のお話があり、郷土の「ごごめもち」についてのお話もありました。もち米とご飯のお米を混ぜて作るお餅で通常のお餅と比べて歯切れがよいのが特徴とのことでした。

子どもたちは、仏さまの大きな願いの中でこれからも元気な仏の子として歩いていくこととお誓いしました。

### SDGs(Sustainable Development Goals)

「持続可能な開発目標」—世界中にある環境問題・差別・貧困・人権問題といった課題を、世界のみんなで2030年までに解決していこう」とする目標・計画のことで、目標は、17項目あります。

本園では、**目標4教育**・・・すべての人に公正な質の高い教育を確保して福祉を促進する。**目標3「気候変動」**・・・気候変動及びその影響を軽減するための対策を講じる。について、今、できることから始めようをスローガンに取り組んでいます。

### 『どの子ども子どもは星』

みんなそれぞれがそれぞれの光をいただいてまばたきしている。ぼくの光を見てくださいとまばたきしている。わたしの光も見てくださいとまばたきしている。光を見てやろう。



光を見てももらえない子どもの星は光を消す。まばたきをやめようとしている星はないか。光を消してしまおうとしている星はないか。光を見てやろう。まばたきに伝えてやろう。

やんちゃ者の光、おとなしい子の光、気のはやい子の光、ゆっくりやさんの光、天いっぱい子どもの星をかがやかせよう。

(東井義雄 元校長,日本の教育者,浄土真宗僧侶)



“子どもはつまづきの天才”，つまづきを経験しながら、生きる力の根っこの部分を大きく、太くしていきます。どの子どももやがて必ず花開きます。

本園では、これまでもそうであったように、『どの子ども子どもは星』という教師の心を教育者の原点として子どもたち一人一人に寄り添った教育・保育に取り組んでいこうと思います。

「子どもがあって職員があり、子どもがあって幼稚園がある」、感謝の念を胸に、学年のまとめの学期、つぎのステップへの準備の学期に45名の職員総力を挙げて取り組んでいこうと思います。

--	--

--	--